



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 第44回木産協通常総会開催！
- 2. 県プレカット協会通常総会開催！
- 3. 県JAS製材連絡協議会総会開催
- 4. 全木連・全木協通常総会開催！
- 5. 森林経営管理法、成立！
- 6. JAS構造材利用拡大事業説明会開催



1 第44回山形県木材産業協同組合通常総会開催!!

山形県木材産業協同組合平成30年度通常総会が、5月25日(金)ホテルメトロポリタン山形で、県内各地から会員、来賓等約80名が出席し開催された。

はじめに、阿部理事長から、やまがた森林ノミクスや林業成長産業化事業など国や県からの支援や関係団体、会員企業の活動に感謝し、引き続き木産協事業等への支援・協力をお願いすると挨拶した。

続いて、ご来賓として山形森林管理署長西川晃由氏、県農林水産部森林ノミクス推進監(兼)林業振興課長安達喜代美氏、県議会議員(林防災山形支部長)今井榮喜氏、全国木材組合連合会総務部長佐山光則氏の4名の方から代表してご祝辞をいただきました。

議長に松田賢副理事長が選出され、議事に入りました。第1号議案として、平成29年度事業報告、損益計算書など事務局から報告した。事業報告の中では、3月に素材生産部会の設立や協和木材の納材条件の緩和、置賜地域のバイオマス発電の本格稼働等により、素材共同販売事業が約2割増加するなど素材関係の事業費が大きく伸びたことや、県からの委託新規事業では「やまがた木づかい運動推進事業」によるウッドスタート「積み木製作配布事業」が始まり、県内すべての幼稚園に積み木セットを2年間で配布する計画のうち、今年度は村山・最上地域の60の幼稚園等に配布を終えたこと、県産木材の普及推進策として、林業まつりや日本一さくらんぼ祭り、木と住まいの大博覧会(仙台市夢メッセ、東京ビッグサイト)などで、県産木材、製材品の技術と品質をPRしたことが報告された。行政との連携活動として、やまがた森林ノミクス推進会議、林工連携コンソーシアム、再造林推進会議、県高度化推進資金推進協議会等に参加し、業界の意見など提案したことを報告した。



また、第2号議案の平成30年度事業計画では、国の施策が品質性能の明確な木材製品の供給体制の構築を図ることを打ち出していること



から、木産協でもJAS無垢材利用拡大事業の普及推進や県内初の機械等級区分構造用JAS工場の認定支援に力を入れていく方針であることや、非住宅非公共施設の木質化、オリンピック・パラリンピック施設への納材の可能性など情報収集に努めること、林業まつり、木と住まいの大博覧会(仙台・東京)等への県産木製品(JAS製材品や広葉樹材製品)の普及推進を図ること、さらに、第4回林業

労働者安全大会を7月に鶴岡市で開催することを報告した。

質疑応答では、NKCながいグリーンパワー(株)の澁谷浩司氏から、素材生産部会の活動や発電事業者の加入、木質バイオマスの動向等について質問があり、遠田副理事長(素材生産部会長)から、明快な回答があった。また、(株)沖田木材産業の沖田洋元氏から、2020年東京オリンピック・パラリンピック施設への県産木材利用について、最近新聞等で報じられているが、わかる範囲で使われ方や利用条件などを伺いたいと要請があり、事務局から情報提供した。金山町森林組合狩谷健一氏からは、林野庁新規事業「JAS構造材利用拡大事業」についてもう少し具体的に説明してほしい旨要請があり事務局から情報提供した。逸見木材(株)平間利一氏からは、組合員の出資口数に大きな差異があり、是正する考えはあるか質問があり、阿部理事長から、役員会等で引き続き検討していきたいと回答した。これらを踏まえ、平成29年度実績と平成30年度収支予算案などの承認をいただきました。

2 平成30年度山形県プレカット協会通常総会開催!!



5月14日(月)山形国際ホテル5F若葉の間で第3回通常総会が開催された。来賓として、県農林水産部安達喜代美森林ノミクス推進監(兼)林業振興課長にご出席いただいた。

初めに松田賢会長が挨拶し、県行政の当協会や木材産業全般に対する支援等について感謝するとともに、昨年度の全木連事業「工務店等と林業・木材加工業の連携による住宅づくり等への支援事業」による普及活動やおいしい山形空港出発ロビーの内装木

質化事業などで県と協力することで県民に木材の良さについて周知を図ることができたとした。議事に入り、事業報告・収支決算では、県広葉樹利用研究会との連携により、好評の床材等のパンフレット作成や東京オリンピック等施設に納材する製材品加工に関する研修会開催等報告した。

H30事業計画・収支予算案では県林業まつりや木と住まいの大博覧会展示PRやJAS無垢材利用拡大事業への当協会の支援策など盛り込まれた。原案どおり承認された。

3 平成30年度山形県JAS製材連絡協議会通常総会開催!!

5月17日(木)県JAS製材連絡協議会通常総会が山形市パレスグランデールで開催された。今年度は会員全員が出席したほか、来賓として県林業振興課木材産業振興主幹堀米英明氏と新規入会予定の金山町森林組合と(株)沖田木材産業が加わった。初めに阿部昭JAS協会長が挨拶し、最近のJAS工場の動向や東京オリンピック関連施設への納材、林野庁新規事業への取り組み等を紹介し、協議会で情報を共有することで、行政や県民等への要望に応じていきたいとした。



阿部会長を議長とし議事に入り、第1号議案H29事業報告・収支決算では、3月に開催した研修会や林業まつりでの普及活動が報告された。第2号議案H30事業計画・収支予算案では、林業まつりでの普及活動の継続と県営木材の現地やJAS工場の視察研修の計画、JAS利用拡大事業の県内4地区説明会などが提案された。原案どおり承認された。

また、規約の改正と役員改選も審議され、会長に阿部昭氏、副会長に相原吉郎氏、庄司和敏氏、監事に栗本正幸氏を選出した。

4 平成30年度全木連・全木協連通常総会開催!!

全国木材組合連合会は5月15日、東京都メルパークで第79回通常総会を開催した。本県からは阿部昭理事長が出席した。任期満了に伴う役員改選で、鈴木和雄氏（東海木材相互市場社長）が新会長に就任した。就任の挨拶で、「吉条良明前会長の下で進められてきた山側等の関係団体や他業界との連携を引き継ぎ、国産材の利用拡大の流れを確実なものとしていく。特に山への還元は大きな課題であり、山側とともに改革に取り組んでいく。」とした。

今年度新規事業として、林野庁のJAS構造材利用拡大事業の事務局となったことから、JAS構造材を使用する工務店など事業体を支援していく方針だ。

全国木材協同組合連合会は、15日東京都内で第58回通常総会を開催した。任期満了に伴う役員改選では坂東正一郎氏が勇退し、北海道木材産業協同組合連合会会長松原正和氏（松原産業社長）が新会長に就任した。総会では、引き続き住宅、非住宅分野での木材利用拡大に組織を挙げて取り組むことを確認した。

また、(一社)全国木材検査・研究協会（JAS第三者格付機関）理事長に山田壽夫氏が就任し、前任の後藤隆一氏は顧問となった。

(独法)農林漁業信用基金理事長に今井敏氏（前林野庁長官）が就任した。

5 森林経営管理法、成立!!

新たな森林管理システムとして閣議決定されていた森林経営管理法が、25日に参議院本会議で可決され、目標どおり今国会で成立した。働き方改革や森友・加計学園問題、財務省理財局公文書改ざん問題、防衛省イラク日報隠ぺい問題等が次々と国会で論議され、成立が危ぶまれていましたが、林野庁が進めている森林環境税の創設に大きな役割を果たす森林経営管理法案がまず成立したことは喜ばしいことである。木産協たより3月号にも概要を掲載したが、大きく変わる点は次の二つである。

- ①森林所有者が自ら森林管理を実行できない場合に、市町村が森林管理の委託を受け、意欲と能力のある林業経営者に再委託する。（林業経営に適した林地の集約化）
- ②再委託できない森林（奥地や不採算地等）及び再委託に至るまでの間の森林（所有者不明等）においては、市町村が管理を行う。

今回、森林について「経営管理権」と「経営管理実施権」を定めており、森林所有者から市町村へ森林の経営管理権が移り、林業に適した林地は意欲と能力のある林業経営者が経営管理実施権に基づき主伐・間伐・再造林を進めていくことができるようになる。また、所有者が不明な場合でも一定の手続きを経ることで経営管理権を市町村に移すことができるようにしている。一方で市町村が森林の管理委託を受けることについて、市町村の人手不足や林業の専門家不足が懸念されている。対策として、都道府県の作業代行も位置づけているが、都道府県も人手不足が指摘されている。

この新法は来年度から正式に動くこととなっている。これまで民有林の集約化促進については、私有林人工林約670万haのうち現在約3割が集積・集約化されているが、新法成立により10年後には5割、20年後には約7割の約460万haを集積・集約化し、林業の規模拡大を図る目標が示されている。

県でシンボルマークを作成



6 JAS 構造材利用拡大事業（林野庁新規補助事業）!!

林野庁平成 29 年度補正と平成 30 年度当初予算により、構造部材（柱、梁、桁等）に JAS 機械等級区分構造用無垢製材や CLT 等を活用する非公共非住宅建築物（民間事務所、工場、店舗等）に対して、構造材の調達費の一部が助成される。

本事業の目的は、これまで木材利用が低位であった非公共非住宅分野を中心とする建築物において、品質や性能が明確で構造計算が可能な JAS 構造材を積極的に利用することで、JAS 無垢構造材の格付け実績を引き上げ、流通量を拡大する。

JAS 構造材活用宣言事業と宣言をした事業者による個別実証支援事業の 2 本立てとなる。実証支援事業の具体例として、①構造部の柱・梁・桁等に JAS 無垢構造材を使用した場合、その実調達費（加工費、運搬費込等）②申請時に助成対象木材を予定していた階ごとの床面積に 2 千円/m²を乗じた金額③助成対象木材を実際に使用した階ごとの床面積の①と②と③を比較して最も低い金額を助成する。（上限百万円）事業者には JAS 無垢材の施工性や課題等の報告書（レポート）の作成・提出が義務付けられる。

木産協では林野庁新規補助事業「JAS 構造材利用拡大事業」を受託し、当事業の山形県内地域の申請受付等窓口となったところです。新規事業であることから県内 4 地区で会員企業に説明し、会員と取引のある工務店・ゼネコン等に情報を提供していただければと考えています。つきましては、昼食付き事業説明会下記のとおり準備しましたので、お近くの会場においてください。申込みは、村山地区は 6 月 15 日まで、その他会場は 6 月 8 日まで。

日 程	会 場 名	備 考
6 月 12 日(火)	(置賜地区) 東京第一ホテル米沢	
6 月 13 日(水)	(最上地区) ニューグランドホテル新庄	
6 月 14 日(木)	(庄内地区) 玉姫殿ホテルサンルート	
6 月 19 日(火)	(村山地区) 山形国際ホテル	

7 6 月以降の行事予定

6 月 2 日	県植樹祭（飯豊町 源流の森）	専務
6 月 5 日	真室川県営林（模範林）視察研修会	専務
6 月 6 日	県広葉樹利用研究会研修会（山形市内）	副理事長・専務
6 月 11 日	山形県林業まつり事務局会議 県庁 1102 会議室	専務
6 月 15 日	県林工連携コンソーシアム運営委員会・総会	理事長
6 月 29 日	森林林業木材産業活性化推進研修会	理事長
7 月 5 日	林業労働安全大会（鶴岡市）	理事長・他
7 月 7-8 日	木と住まいの第博覧会（仙台市）	副理事長・専務

事務局からのお願い!!

- ・合法木材等実績報告書の提出（期限 6 月 29 日（金）まで）
- ・平成 30 年度組合年会費等のお願い（期限 8 月 31 日（金）まで）

8 木と住まいの大博覧会（夢メッセみやぎ）今年も出展!!

今年度も仙台圏内での「木と住まいの大博覧会」に参加します。林野庁事業等を活用し東北最大の消費地仙台で山形県産木材製品等のPRを実施します。東北各県の木材団体も同時に出展することから、本県の選りすぐりの木製品、木造建築技術、木工品等を展示販売していきます。昨年と同じブース面積を確保しました。例年、山形ブースの集客度は注目を集めている。

日 時：平成29年7月7日（土）10～17時、8日（日）10～16時

会 場：「夢メッセみやぎ」（仙台市宮城野区港3丁目1-7）

その他：出展希望があれば木産協までご相談下さい。



平成29年度「木と住まいの大博覧会」県産スギ材在来軸組展示、広葉樹材展示等

9 日本百名山シリーズ紹介（北岳）

南アルプスの主峰北岳は、3,193m日本第2位の高峰である。この山は目の前に富士山があり、中腹・稜線等にお花畑があり、3,000mを超える2時間ほどの稜線歩きができ、ロッククライミングのメッカである北岳バットレスがあるなど魅力満載の山である。甲府駅を朝7時発の登山バスに乗り夜叉神峠経由で広河原まで約2時間、そこから標高差1,700mを一気に肩の小屋まで6時間の急登となる中級者以上のコースである。初級者は中腹の白根御池小屋までがんばろう。そのかわり、お花畑（山頂下東南斜面等）には固有種



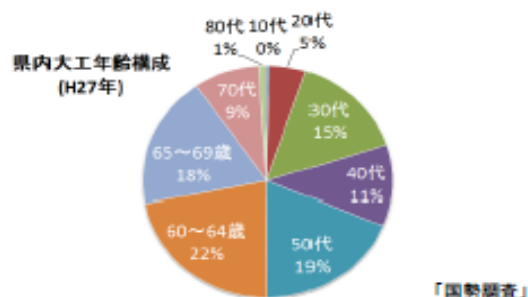
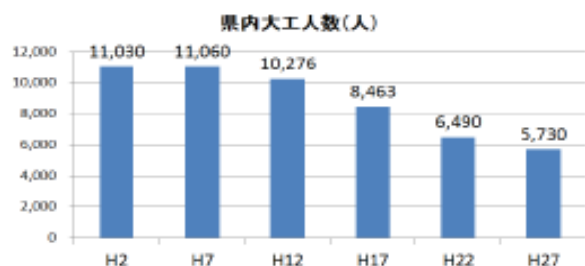
キタダケソウ

キタダケソウ（6月期雪解け直後）やハクサンイチゲ、コマクサ、マツムシソウ、チングルマなど主要な高山植物（乾燥地系）が勢ぞろいしている。この山が花の百名山に選ばれていないのが不思議な気がする。また、間ノ岳（3,190m：日本3位）までの稜線歩きも、日本でこだけ富士山を横に見下ろす感覚でのトレッキングとなる。登山道では物足りない人向けには、八本歯のコルや池山吊尾根、バットレスコース等盛り沢山である。白峰三山縦走コース（北岳、間ノ岳、農鳥岳）も健脚者向けの有名コースで、下山すると奈良田温泉がある。

10 県からのお知らせ

若手大工育成支援プログラム 「若手大工」参加者募集!

県内大工の現状



- ・ 県内の大工職人は20年前と比べて半減しており、60歳以上の割合が約5割を占めています。
- ・ 将来、大工が不足して県内の住宅建設市場の需要に対応できなくなり、大工の技能が伝承されない恐れがあります。

山形県では若手大工の就職から概ね5年間、大工に必要な技術や技能の習得を支援します。

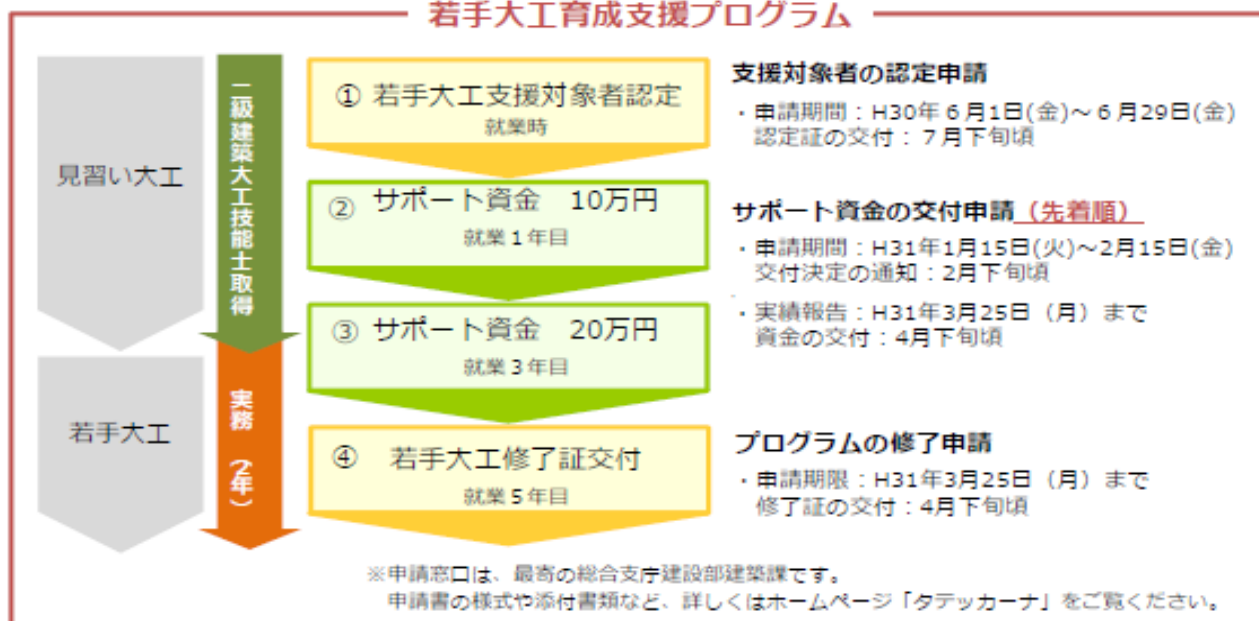
■「若手大工育成支援プログラム」とは

プログラムでは、就職から5年の間に、二級建築大工技能士の取得や墨付け・手刻みなどの技能習得を目指していただきます。

- ① はじめに、県内に本店又は支店のある大工・工務店に就職した若手大工を「支援対象者」として認定します。
- ②③認定された大工のうち、一定の技能を習得した方にその費用の一部を直接交付します。
(1年目:10万円、3年目:20万円)
- ④ 二級建築大工技能士を取得し、一定期間継続就業や技能習得が認められれば修了証を交付します。

※ プログラムの修了者と雇用する大工・工務店については、ホームページ「タテッカーナ」で紹介させていただきます。

若手大工育成支援プログラム



11 全国木材協同組合連合会からのお知らせ (8月更新)

会員各位

2017年7月

全国木材協同組合連合会

平成29年度

任意災害補償制度

のご案内とご加入のすすめ

◆ 業務災害総合保険 ◆

業務災害補償特約、医療費用補償特約、疾病入院医療保険金支払特約、疾病入院医療費用補償特約、事業主相談費用等補償特約、使用者賠償責任補償特約（使用者賠償責任拡張補償特約セット）、地震・噴火・津波危険補償特約、事業主・役員フルタイム補償特約 等セット

拝啓 時下益々ご隆盛の段、心よりお慶び申し上げます。平素は当団体の活動に対してご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当団体では会員の福利厚生対策として、「任意災害補償制度」を採用しており、社員のほか、パート、アルバイト、派遣社員、構内下請 に対する補償・福利厚生の充実の一環として、この制度がお役に立てるものと考えております。

大切な従業員が安心して業務に従事できるように手当することは、人材の安定確保、福利厚生の充実という面からも、重要なことといえます。ぜひ、この機会に多くの会員の皆様にご加入されますようご案内申し上げます。

敬具

例えばこのような時にお役に立ちます

業務中のケガはもちろん、通常経路による通勤途上のケガも補償します。



巻き込まれによるケガ



交通事故によるケガ



落下物によるケガ



転倒によるケガ

保険期間

2017年8月1日～2018年8月1日

当制度は団体契約のため毎年8月1日が更新日となります。制度の加入は年間を通して可能ですが、更新日以外にご加入される場合の補償開始日（保険期間開始日）については取扱代理店にお問い合わせください。

12 4月期の住宅着工状況

平成30年4月期の県内新設住宅着工戸数は723戸となり、対前月比135.1%、対前年同月比127.7%、前年累計比142.4%となった。地域別で米沢市が289戸で大きく伸びている。これは、山形大学学生寮が256戸、プレハブ鉄骨造でセキスイが施工したようだ。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年4月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
4月	566	277	169	0	120	564	2	471	83.2%	331	13	127
29.1~4月	1,401	778	373	15	235	1,394	7	1,210	86.4%	858	33	319
5月	348	249	36	25	38	345	3	321	92.2%	267	1	53
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
7月	528	322	152	3	51	527	1	489	92.6%	371	12	106
8月	561	284	225	1	51	548	13	483	86.1%	358	13	112
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
対前月比	135.1%	142.9%	199.5%	27.3%	32.2%	87.5%	#DIV/0!	110.7%	-	145.2%	122.2%	64.0%
対前年同月比	127.7%	112.4%	304.9%	84.6%	281.4%	173.7%	0.0%	142.5%	-	104.3%	112.5%	287.7%
29.1~当月計	1,401	778	373	15	235	1,394	7	1,210	86.4%	858	33	319
30.1~当月計	1,995	826	890	17	262	1,737	258	1,442	72.3%	925	29	488
対累計前年比	142.4%	106.2%	238.6%	113.3%	111.5%	124.6%	3685.7%	119.2%	-	107.8%	87.9%	153.0%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年4月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	723	1,995	127.7%	142.4%	1,442
山形市	105	571	105.0%	157.7%	368
上山市	7	36	87.5%	97.3%	23
天童市	27	123	57.4%	90.4%	111
山辺町	3	17	300.0%	154.5%	17
中山町	2	7	100.0%	116.7%	7
東南村山	144	754	91.1%	136.6%	526
寒河江市	20	95	83.3%	197.9%	93
河北町	6	17	54.5%	89.5%	17
西川町	0	0	0.0%	0.0%	0
朝日町	0	0	0.0%	0.0%	0
大江町	5	5	500.0%	166.7%	4
西村山郡	31	117	81.6%	162.5%	114
村山市	11	20	220.0%	166.7%	18
東根市	40	107	46.5%	66.9%	98
尾花沢市	4	12	33.3%	100.0%	12
大石田町	0	1	0.0%	50.0%	1
北村山	55	140	52.4%	75.3%	129
村山地域	230	1,011	76.4%	124.8%	769
新庄市	19	45	126.7%	180.0%	45
金山町	1	1	100.0%	100.0%	1
最上町	3	3	150.0%	75.0%	3
舟形町	3	3	150.0%	150.0%	3
真室川町	0	0	-	-	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	2	2	-	200.0%	2
鮭川村	2	2	-	200.0%	2
戸沢村	1	3	-	-	3
最上地域	31	59	155.0%	173.5%	59
米沢市	289	383	249.1%	233.5%	125
南陽市	10	23	45.5%	33.3%	22
高島町	8	19	160.0%	126.7%	18
川西町	3	15	100.0%	250.0%	6
東南置賜	310	440	212.3%	173.2%	171
長井市	8	42	47.1%	107.7%	41
小国町	0	0	-	0.0%	0
白鷹町	8	10	114.3%	90.9%	10
飯豊町	3	3	300.0%	100.0%	3
西置賜	19	55	76.0%	98.2%	54
置賜地域	329	495	192.4%	159.7%	225
鶴岡市	39	174	111.4%	133.8%	168
三川町	18	24	600.0%	480.0%	22
庄内町	12	31	300.0%	182.4%	30
田川	69	229	164.3%	150.7%	220
酒田市	54	189	17.2%	205.4%	158
遊佐町	10	12	1000.0%	400.0%	11
飽海	64	201	200.0%	211.6%	169
庄内地域	133	430	179.7%	174.1%	389

注:累計は平成30年1月~

